

出張復命書

令和 6 年 9 月 8 日

| | | |
|----------|---|---------------|
| 所属・職名・氏名 | 岡山県相談支援専門員協会 相談支援専門員 小林昌子 | |
| 出張目的 | 精神障害者地域移行・地域定着支援事業コアメンバー連絡会 | |
| 出張先 | 岡山県精神保健福祉センター | |
| 出張期日 | 令和 6 年 9 月 6 日金曜日 15 時から 17 時 | |
| 相手方対応者 | 職名・氏名 | 岡山県精神保健福祉センター |
| 復命概要 | <p>出席者：岡山県精神保健福祉センター(高桑副参事、重松幹、山本主任) 子ども・福祉部障害福祉課 障害福祉サービス班(額田主任) 備中保健所保険課 心の保健福祉班(大島総括主幹) 保健福祉部健康推進課 精神保健福祉班(片岡主幹) 岡山精神科医療センター(黒岡氏) 岡山県精神保健福祉士協会(河合氏) 特定非営利活動法人 岡山入居者センター(伊藤氏) 岡山県相談支援専門員協会(山本氏・小林)</p> <p>1. 冒頭挨拶(精神保健福祉センター地域支援課副参事高桑氏より)</p> <p>2. 中央研修:精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた研修会について意見交換</p> <p>①講演について 現在依頼中のここいろクリニック佐藤医師については多忙なため難しい可能性があり、岡山県精神保健福祉センター野口所長に講演いただく案も検討。(高桑氏)</p> <p>②シンポジウムについて 市町村枠は、赤磐市の横のつながり、他機関連携目線で候補として検討中。(高桑氏)</p> <p>にも包括の言葉の一人歩き、地域資源が足りないエリアの保健師が、にも包括の基本基礎を入れ、入院はライフステージ“迎え入れる地域づくり“を立ち返る良い機会。(大島氏)</p> <p>役割、家族機能分化の弊害による連携の難しさ、間のケアは個が取り組んでいる現状がある。仕組みと課題、複合課題、困窮世帯、家族システムの変化など多岐にわたる。(黒岡氏)</p> <p>3. 今年度のスケジュールについて 12月6日(金曜)中央研修終了後、第3回コアメンバー連絡会実施予定。 中央研修について詳細等は追って事務局より連絡あり。</p> | |

会長検印

令和 6 年 9 月 9 日

永田 拓 